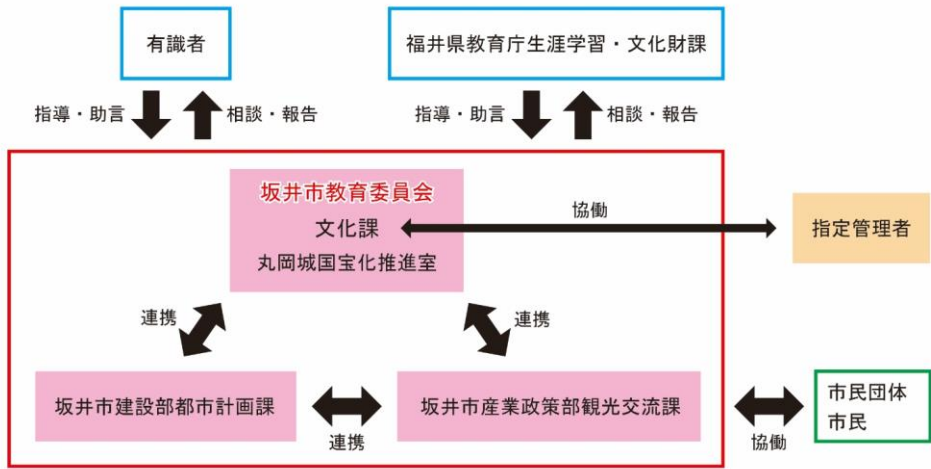


公開・活用

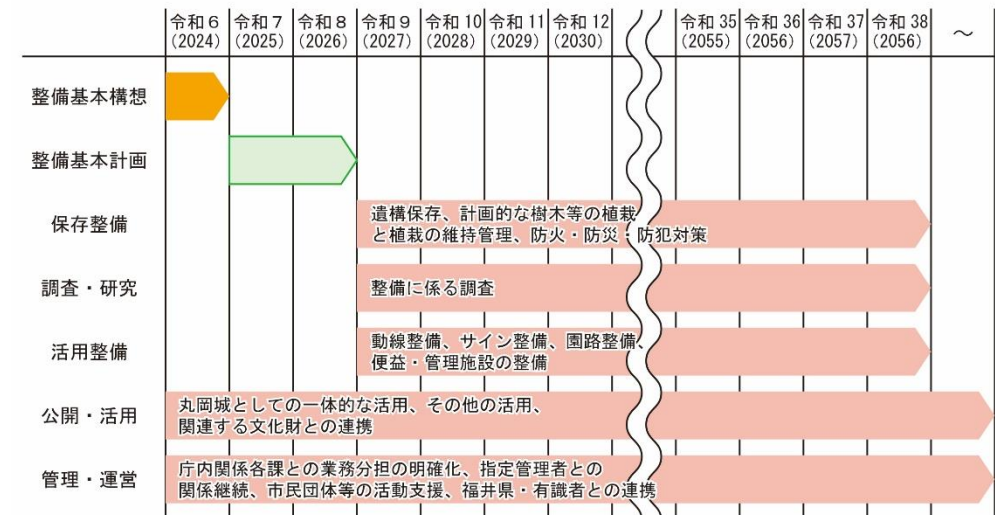
- 丸岡城城山全体を一体的に体感できるような公開・活用の推進
城郭遺構を顕在化し、城山全体を周遊しながら往時のありようを体感できる公開を目指します。あわせて周辺市街地に点在する往時の城郭構造跡についても一体的に周遊できるような整備についても併せて検討します。
- 将来を見据えた持続性の高い民間連携体制の構築
観光ボランティアガイドおよび丸岡城に関連する活動を行っている民間団体と情報の共有体制を構築し、効果的な連携の在り方、ガイドの増員や養成支援、地域団体への活動支援や環境整備といった取組について検討します。
- イベント会場としての活用に留まらない多様な公開・活用の推進
各種ユニークバニユーや地域や学校教育との連携などを念頭に利活用の条件整理や関係機関との調整を進めます。
- より総合的な関連文化財との広域連携推進
既存の周遊ルートに、関連文化財を収蔵展示している資料館や関連無形文化財のイベント開催等も組み込み、より総合的な広域連携を進めていきます。

管理・運営

- 整備を円滑に推進するための体制構築
整備を円滑に進めていくため、庁内の関係各課との協議の場を設け、業務分担を明確化すると共に指定管理者との良好な関係を維持していきます。
福井県教育庁生涯学習・文化財課
や有識者等と連携し、指導・助言をいただきながら、城山に残る石垣や曲輪等の遺構を天守と合わせて適切に保存していきます。市民や地域団体の積極的な活動を引き続き支援し、官民協働での丸岡城城山の保存・活用を進めます。



事業計画



坂井市 教育委員会 文化課
令和7年3月31日

丸岡城城山整備基本構想（概要版）

策定の目的と期間

丸岡城城山は、丸岡城跡の文化財的価値を天守と共に一体的に形成している文化財です。城山の文化財的価値を整理し、保存・活用するための城山整備の理念や方針を示すため「丸岡城城山整備基本構想」を策定します。
本構想の対象となる期間は令和9～38（2027～2056）年度の30年間とします。



丸岡城跡の価値

丸岡城城山は、丸岡城跡としての文化財的な側面と、霞ヶ城公園として地域に親しまれてきたシンボリックな側面を持っています。それぞれの側面から城山の価値を整理しました。

文化財的価値

- ① 往時の城郭構造が良く残っていること
- ② 天守と城山が一体となって現存していること
- ③ 丸岡城城山からは坂井平野を広範囲で望むことができ、当地が選定された意味を体感できること

文化財的価値以外の価値

- ① 地域のシンボルであり、住民の憩いの場として、地域と密接に関わってきた歴史を有すること
- ② 坂井市を代表する観光資源であること

丸岡城城山の価値に基づいて、城山内の要素を整理しました。

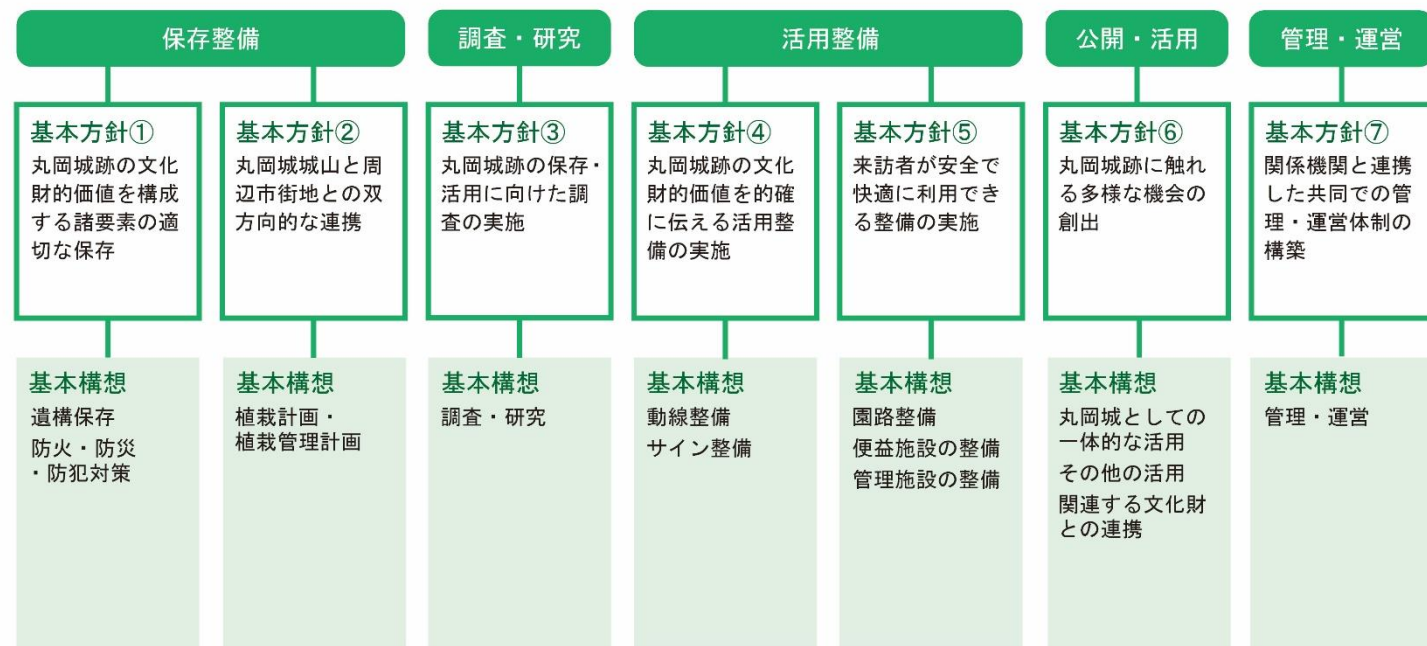
項目	概要
丸岡城城山内の要素	
文化財的価値を構成する諸要素	丸岡城跡の文化財的価値となる要素である。丸岡城城山に残る天守、石垣、曲輪等が該当する。
文化財的価値に準ずる諸要素	丸岡城跡に関連が深いもしくは廃城後の歴史を理解する上で重要な要素やその他の価値に関係する要素である。八幡神社、雲井龍神の祠、樹木等が該当する。
丸岡城跡の保存・活用に有効な諸要素	丸岡城城山において丸岡城跡の保存・活用に有効な要素である。近代以降に築かれた石垣、管理事務所、トイレ、園路等が該当する。
その他の諸要素	上記以外の要素である。丸岡城跡の文化財的価値や保存管理・活用に直接関係しないため、今後取扱いを検討する。地蔵祠や牛ヶ島石棺及び覆屋等が該当する。

整備基本構想

①丸岡城城山が有する文化財的価値を保存し、次世代に継承していく。

②丸岡城城山の文化財的価値を顕在化していく。

③市民に親しまれる公園整備と両立していく。



遺構保存

- 城山に残る遺構を保存し、その展示や可視化に向けた整備を推進
展示や可視化整備の可否は調査の成果および専門家の指導に基づいて判断したうえで適切な手法で整備を行います。
展示等が困難な遺構については、解説サイン等によって顕在化や情報提供を行います。
- 優先順位を付けた計画的な対応を推進
個々の整備には遺構や周辺状況を踏まえて優先順位をつけ、孕み出しが確認されている石垣や崩落が進行している法面など、緊急性が高く優先順位が高い遺構から対応を進めます。

植栽計画・植栽管理計画

- 植栽計画と植栽管理計画に基づいた計画的な整備を推進
計画の策定にあたっては、往時の緑環境や雰囲気、眺望といった文化財的な観点に加えて、都市公園としての景観や市民に親しまれてきた桜の名所としての側面などの多面的な観点を活かしていきます。
- 植栽計画：往時の丸岡城における植栽を目指すべき植栽景観とし、その実現に向けた対応を示します。
- 植栽管理計画：植栽台帳管理、定期状況把握、樹高等管理基準といった管理方針と手法を示します。

防火・防災・防犯対策

- 優先順位を付けた計画的な対応を推進
火災や災害の危険度や影響の評価を行い、優先順位を付けながら防火設備の整備や防災対策を進めます。文化財的価値のき損につながるような行為に対する防犯についても、位置関係や人目といった要因を整理して影響評価を行い、その結果に応じた防犯対策を行います。
- ゾーニングと立ち入り制限による予防的措置
影響評価を踏まえてゾーニングを行い、夜間の立ち入り制限等も含めて対応を検討します。

調査・研究

- 城山の整備に合わせて必要な調査を実施
発掘調査、文献調査、建築調査などを総合的に進め、丸岡城跡の文化財的価値を明らかにします。
発掘調査は、遺構を直接的に調査するもので、景観復元などを含む整備検討の基礎資料となることから、慎重に実施して十分な記録を確実に作成し、庁内で共有したうえで整備検討に活かしていきます。
- 自然石野面積の石垣や曲輪、その他の普請遺構の遺構台帳や位置図等作成
城山に残存している自然石野面積の石垣や曲輪その他の普請遺構も含め、位置や状態を確認把握し、遺構台帳や位置図等にとりまとめます。近代以降の石垣等に覆われていると想定される遺構は、今後、近代以降の石垣等を解体修理する際に遺構確認調査を実施します。

動線・サイン整備

- 丸岡城跡の文化財的価値を分かりやすく来訪者に伝える園路への再レイアウト
園路の再設定にあたっては、来場者の安全性、公園としての機能性、ゾーニングや避難誘導経路に留意し、公園機能との両立、来場者の安全確保を図ります。
- 城山を周遊しながら丸岡城全体を体感できるようなサイン整備
サイン施設は適切な場所、配置にて整備します。表示内容については、点字案内やユニバーサルデザインを取り入れるなど、広範なニーズに配慮し、多言語対応も推進します。
整備したサイン施設は城山内の公園施設と合わせて台帳管理し、適切な維持管理を行う。

園路・便益施設・管理施設整備

- 既存公園便益施設の更新、流用および新設整備実施
遺構や視点場といった体感性を考慮した段階的なバリアフリー動線の設定や松ノ丸と既存道路を活用したバリアフリー駐車場を整備検討を進めます。
- 城山を周遊しながら丸岡城全体を体感できるようなサイン整備
必要に応じて、便益施設についても、多目的トイレ等のバリアフリー対応を検討します。
- 管理事務所の機能維持とその他の既存管理施設の配置調整
再設定した動線を踏まえ、既往施設の役割や利便性、維持管理性等に留意したうえで景観を阻害しないよう個数や配置の最適化を進めます。